

スポーツ振興について(1)

スポーツを通じたからだところの健康づくり、地域の活性化

1 スポーツを通じたからだところの健康づくり

県では、令和5年3月に策定した「第3期滋賀県スポーツ推進計画」に基づき、スポーツを「する」「みる」「支える」という様々な形での自発的な参画を通じた「楽しみ」や「喜び」を県民に感じてもらえるよう、施策を効果的に展開することで「スポーツで滋賀を元気に！感動を未来へ！」の実現を目指す。

計画では、スポーツを「する」「みる」「支える」につながる指標を次のとおり定めている。

○スポーツを「する」【週1日以上運動・スポーツ実施率】

指標		R4	R9(目標年度)
成人	滋賀県	52.9%	70%以上
	全国	52.3%	70%(R8年度)
障害者	滋賀県	38.4%	50%以上
	全国	30.9%	40%(R8年度)

○スポーツを「みる」

指標	R4	R9(目標年度)
滋賀県を本拠地とするプロスポーツチーム等のホームゲーム観客数	89,860人	12万人以上
スポーツを観戦した県民の割合 (テレビ観戦などは除く)	21.5%	40%以上

○スポーツを「支える」

指標	R4	R9(目標年度)
スポーツボランティア参加者数(本県ボランティア登録システム利用)	893人	3,800人以上

※びわ湖マラソン2023 ボランティア参加者 2,129名

(1) 県民のスポーツ環境の充実に向けた取組

・県立スポーツ施設の活用

令和4年12月供用開始の滋賀ダイハツアリーナや令和5年4月供用開始の平和堂HATOスタジアム等を活用し、県民大会や参加型スポーツイベント等を通じてスポーツによる健康づくりを進める。

- ・びわ湖マラソンの開催

1962年から2021年の約60年間に渡り長く県民に愛されてきた「びわ湖毎日マラソン」の伝統を受け継ぎ、昨年度、初回大会として「びわ湖マラソン2023」を開催。今年度も引き続き、「健康・環境・活性」をテーマに、スポーツを通じた健康増進や滋賀の魅力発信を行う大会として「びわ湖マラソン2024」を開催する。

- ・スポーツコーチ人材の育成

県民の生涯スポーツの充実に向け、多様なニーズやレベルに合ったスポーツコーチの養成を図るとともに、こうした人材が子ども達のスポーツ活動の充実に向けて活躍いただけるよう、指導者情報を一元化し、地域で活用できる指導者人材バンク制度を構築する。

- ・障害者スポーツの取組

障害者が気軽にスポーツに親しめる機会を提供するため、ボッチャやフライングディスク等を体験できるスポーツイベントを開催する。

また、障害者スポーツのすそ野拡大と身近な地域でスポーツを楽しむことができるよう総合型地域スポーツクラブ等で障害者スポーツ教室を実施する。

- ・プロスポーツ等を活用したスポーツ振興

「しがスポーツ大使」との交流や、本県を本拠地として活躍するプロスポーツチーム等と連携した情報発信を通じて、滋賀のスポーツの魅力発信や「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の機運を醸成し、スポーツ振興と地域活性化を図る。

(2) スポーツボランティアの普及

- ・びわ湖マラソンをはじめとした大規模大会などのスポーツイベントを円滑に運営するためには多くのスポーツボランティアの協力が必要不可欠である。また、2025年の国スポ・障スポ大会においては、さらに多くのボランティアの確保が必要であるとともに、まとめ役となるボランティアリーダーの育成が必要。

- ・そこで、県内プロスポーツチームやスポーツ関係団体、行政等で構成する「しがスポーツボランティア協議会」（令和3年度設立）を中心に、交流会を開催しボランティア活動への参加意欲を高めるとともに、幅広い活動機会を提供しボランティア経験を重ねるなど、スポーツボランティアの魅力を発信しながら、スポーツボランティアの普及と人材育成に取り組む。

[びわ湖マラソンボランティア参加者数：2,129名]

[令和5年3月31日現在登録者数：4,115名（前年度比292名増）]

2 スポーツを通じた地域の活性化

(1) シンボルスポーツ創出に向けた取組

- ・市町における「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の開催競技の地域での普及・定着に向けた取組や東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン交流の継続・深化に資する取組への支援を通じて、地域のスポーツ振興やシンボルスポーツの創出につなげる。

(2) びわ湖マラソンの開催（再掲）

1962年から2021年の約60年間に渡り長く県民に愛されてきた「びわ湖毎日マラソン」の伝統を受け継ぎ、昨年度、初回大会として「びわ湖マラソン2023」を開催。今年度も引き続き、「健康・環境・活性」をテーマに、スポーツを通じた健康増進や滋賀の魅力発信を行う大会として「びわ湖マラソン2024」を開催する。

【参考 びわ湖マラソンの概要】

大会名	びわ湖マラソン2024
主催	滋賀県、一般財団法人滋賀陸上競技協会、大津市、草津市、草津市教育委員会、守山市、公益財団法人滋賀県スポーツ協会
共催	一般社団法人大津市スポーツ協会、公益社団法人草津市スポーツ協会、守山市スポーツ協会、一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会
主管	一般財団法人滋賀陸上競技協会
開催日	令和6年3月10日（日）（3月第2日曜日）
開催種目	マラソン（42.195km）
参加者数	7,000人
コース	スタート：皇子山陸上競技場、フィニッシュ：烏丸半島 （日本陸上競技連盟公認コース（予定））
制限時間	6時間
大会テーマ	○ スポーツの感動を体感することで心と体の健康を増進し、「健康しが」を実現する大会 ○ 琵琶湖への愛着や感謝の気持ちを高めるとともに、CO ₂ ネットゼロなど環境への取組を通じて環境意識を高める大会 ○ 滋賀の魅力を発信し、地域の活性化につながる大会

・開催準備スケジュール

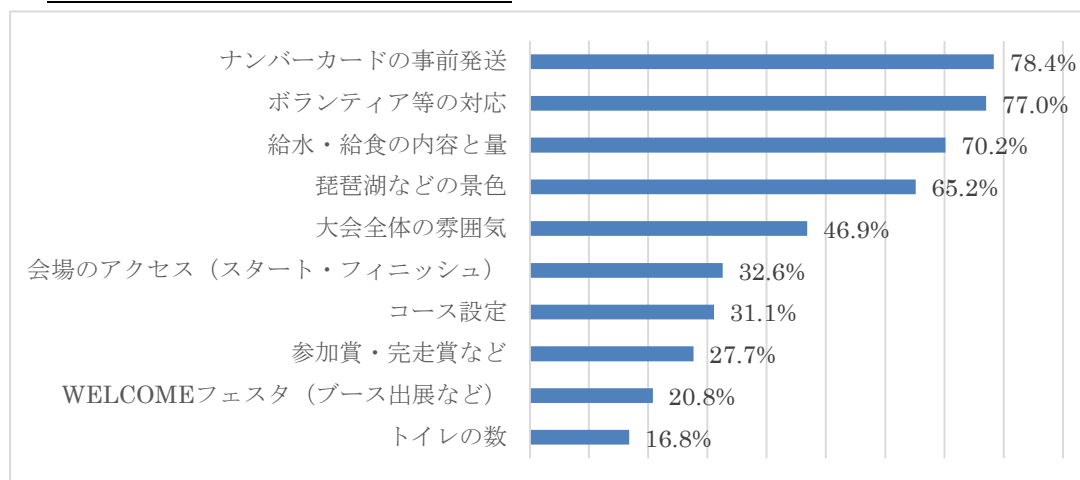
- 令和5年5～7月 大会ポスター、パンフレットの作成
- 令和5年8月上旬 参加者、ボランティア募集開始（～10月末まで）
- 令和6年2月 参加案内等事前送付、ボランティア等説明会開催、交通規制チラシ配布
- 令和6年3月10日 びわ湖マラソン2024開催

【2023 大会の参加者アンケート結果】

○ランナーの満足度 よかった合計 93.8%

(たいへんよかった 51.3% + まあまあよかった 42.5%)

ランナー <大会のよかった点>



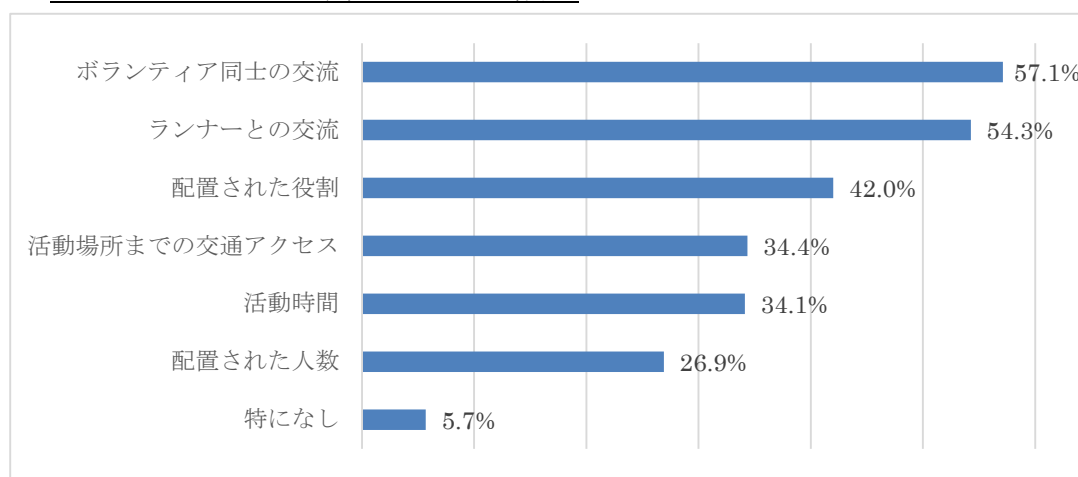
<参加者の声>

- ・給水・給食について、地元色が強くて良かった。質・量ともに満足のいくものであった。
- ・琵琶湖の雄大な景色を思う存分満喫でき、楽しんで走ることができた。
- ・フラットでベストを狙えるコース。シーズンの締めくくりにシーズンベストを出すことができた。

○ボランティアの満足度 満足できた 90.4%

(大変満足できた 38.5% + 概ね満足できた 51.9%)

ボランティア <大会のよかった点>



<参加者の声>

- ・ランナーの頑張っている姿を見て、元気をもらえた。
- ・「支える」おもしろさを味わえたことがとても良かった。
- ・会社一丸となって給水所を担当させていただき、社内コミュニケーションも一層円滑になったことが非常に良かったと思います。